



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 サンワテクノス株式会社
コード番号 8137 URL <http://www.sunwa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 勢
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 花山 一八
四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日

TEL 03-5202-4011
平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	50,006	△8.2	1,082	△23.6	1,102	△28.7	763	△26.1
28年3月期第2四半期	54,457	7.2	1,417	△8.7	1,545	△9.7	1,033	△6.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △49百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 353百万円 (△70.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	54.47	—
28年3月期第2四半期	71.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	55,113	21,640	39.3	1,561.50
28年3月期	55,439	22,263	40.2	1,550.73

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 21,640百万円 28年3月期 22,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	14.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	5.0	2,250	△8.0	2,450	△7.4	1,650	△2.4	117.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	14,438,000 株	28年3月期	14,438,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	579,353 株	28年3月期	81,182 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	14,024,707 株	28年3月期2Q	14,356,937 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成28年11月7日(月)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 仕入、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府による経済政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、急速な円高の進行や、中国をはじめとする新興国経済の減速が景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、スマートフォン向け及び自動車関連業界向けの需要は引き続き堅調を維持しているものの、中国経済減速や円高進行の影響を受けて、産業機械業界は厳しい受注環境が続いており、先行き不透明な状況で推移しております。一方で、半導体関連業界の見通しは回復が見込まれており、明るい兆しが現れております。

このような環境の中で当社グループは、第9次中期経営計画（**Challenge 1500**）の初年度として新たな取組みをスタートさせております。電機・電子・機械分野の最新技術と優れた製品情報を融合させたコアビジネスに、ものづくりの先鋭化をサポートするエンジニアリング力とグローバルSCMソリューションをプラスし、グローバルに活躍する独立系技術商社として新たな価値を生み出す取組みを推進しておりますが、急速な円高進行が業績に大きな影響を及ぼす状況となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高500億6百万円（前年同期比8.2%減）、営業利益10億82百万円（前年同期比23.6%減）、経常利益11億2百万円（前年同期比28.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億63百万円（前年同期比26.1%減）となり、前年同期を下回る結果となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、新規需要の開拓等が貢献して産業機械業界向けのサーボモータ等の販売が増加いたしました。また、太陽光発電システム向けの制御機器の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は91億15百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

[電子部門]

電子部門では、自動車関連業界向けの電子部品の販売及び小売店舗向けのショーケース用LED照明の販売が増加いたしました。また、アミューズメント向けの電子部品の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は367億4百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

[機械部門]

機械部門では、液晶関連向け及び産業機械業界向けの生産設備の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は41億86百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

産業機械業界向けのサーボモータ等の販売、自動車関連業界向けの電子部品の販売、小売店舗向けのショーケース用LED照明の販売及び液晶関連業界向けの生産設備の販売が増加いたしました。また、太陽光発電システム向けの制御機器の販売及びアミューズメント向けの電子部品の販売は減少いたしました。この結果、売上高410億68百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益7億51百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

② アジア

産業機械業界向けの電機品の販売が増加いたしました。また、中国をはじめとする新興国経済減速の影響を受けて、アミューズメント向け及び産業機械業界向けの電子部品の販売は減少いたしました。この結果、売上高118億43百万円（前年同期比27.5%減）、営業利益3億8百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

③ 欧米

産業機械業界向けの生産設備の販売及びアミューズメント向けの電子部品の販売が増加いたしました。この結果、売上高18億92百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益16百万円（前年同期比122.4%増）となりました。

④ その他

売上高は7億9百万円（前年同期比35.7%減）、営業利益2百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、551億13百万円となり前連結会計年度末に比べ3億25百万円減少しました。受取手形及び売掛金の減少がその主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、334億73百万円となり前連結会計年度末に比べ2億97百万円増加しました。未払法人税等の増加が主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、216億40百万円となり前連結会計年度末に比べ6億23百万円減少しました。為替換算調整勘定の減少が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3億68百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には55億6百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億12百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(11億25百万円)、仕入債務の増加(10億86百万円)等による増加がある一方で、売上債権の増加(7億48百万円)、たな卸資産の増加(5億30百万円)等により一部減少したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は38百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入(95百万円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億47百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出(3億72百万円)、配当金の支払(2億円)等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月28日発表の連結の業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成28年6月28日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打切り支給が承認可決されましたので、同制度を株主総会終結の時をもって廃止しております。

これに伴い、第1四半期連結会計期間において、当社の「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、固定負債の「長期未払金」613百万円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,359	5,990
受取手形及び売掛金	33,006	30,026
電子記録債権	1,548	4,332
商品及び製品	5,170	5,343
仕掛品	0	19
その他	864	895
貸倒引当金	△91	△90
流動資産合計	46,857	46,517
固定資産		
有形固定資産	3,788	3,683
無形固定資産	240	215
投資その他の資産	4,553	4,696
固定資産合計	8,581	8,596
資産合計	55,439	55,113
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,732	13,963
電子記録債務	—	11,020
短期借入金	1,417	1,312
1年内返済予定の長期借入金	900	300
未払法人税等	274	418
引当金	—	37
その他	1,366	1,344
流動負債合計	28,691	28,397
固定負債		
社債	1,200	1,200
長期借入金	1,200	1,800
長期未払金	—	613
役員退職慰労引当金	696	64
退職給付に係る負債	998	995
その他	389	402
固定負債合計	4,484	5,076
負債合計	33,176	33,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	1,958	1,958
利益剰余金	15,761	16,324
自己株式	△54	△427
株主資本合計	20,217	20,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,148	1,287
為替換算調整勘定	897	△55
その他の包括利益累計額合計	2,045	1,232
純資産合計	22,263	21,640
負債純資産合計	55,439	55,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	54,457	50,006
売上原価	47,709	43,674
売上総利益	6,748	6,331
販売費及び一般管理費	5,331	5,249
営業利益	1,417	1,082
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	42	41
仕入割引	27	27
受取家賃	58	57
その他	75	71
営業外収益合計	216	208
営業外費用		
支払利息	21	20
売上債権売却損	7	5
為替差損	46	154
その他	12	8
営業外費用合計	87	188
経常利益	1,545	1,102
特別利益		
投資有価証券売却益	—	36
特別利益合計	—	36
特別損失		
投資有価証券売却損	—	3
投資有価証券評価損	—	10
特別損失合計	—	13
税金等調整前四半期純利益	1,545	1,125
法人税等	512	361
四半期純利益	1,033	763
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,033	763

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,033	763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△737	139
為替換算調整勘定	56	△952
その他の包括利益合計	△680	△813
四半期包括利益	353	△49
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353	△49
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,545	1,125
減価償却費	126	148
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	△2
受取利息及び受取配当金	△54	△51
支払利息	21	20
為替差損益 (△は益)	△0	△30
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△33
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	10
売上債権の増減額 (△は増加)	995	△748
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△447	△530
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,809	1,086
その他	△152	9
小計	235	1,004
利息及び配当金の受取額	54	51
利息の支払額	△21	△20
法人税等の支払額	△458	△222
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190	812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16	△19
投資有価証券の取得による支出	△17	△16
投資有価証券の売却による収入	—	95
その他	△267	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301	38
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	600
長期借入金の返済による支出	—	△600
リース債務の返済による支出	△62	△74
自己株式の取得による支出	△0	△372
配当金の支払額	△200	△200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263	△647
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	△571
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△732	△368
現金及び現金同等物の期首残高	7,100	5,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,367	5,506

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,215	14,991	1,678	53,886	571	54,457	—	54,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,878	1,344	47	4,270	530	4,800	△4,800	—
計	40,093	16,336	1,726	58,156	1,102	59,258	△4,800	54,457
セグメント利益又は損 失(△)	925	500	7	1,433	△5	1,428	△10	1,417

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△10百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額△11百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,157	10,648	1,772	49,578	427	50,006	—	50,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,910	1,194	120	5,225	281	5,507	△5,507	—
計	41,068	11,843	1,892	54,804	709	55,513	△5,507	50,006
セグメント利益	751	308	16	1,077	2	1,079	2	1,082

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額1百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	35,512	104.5
アジア (百万円)	7,676	60.5
欧米 (百万円)	338	36.4
報告セグメント計 (百万円)	43,526	91.4
その他 (百万円)	340	59.6
合計 (百万円)	43,866	91.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	38,828	104.4	12,090	108.0
アジア	10,604	69.2	5,051	87.1
欧米	1,947	112.3	1,146	148.4
報告セグメント計	51,380	94.7	18,288	102.9
その他	600	101.8	273	93.8
合計	51,981	94.8	18,562	102.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	37,157	99.8
アジア (百万円)	10,648	71.0
欧米 (百万円)	1,772	105.6
報告セグメント計 (百万円)	49,578	92.0
その他 (百万円)	427	74.7
合計 (百万円)	50,006	91.8

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。